

私たちがつくる
未来をつくる



2021→2030

第6次豊橋市総合計画

概|要|版

まちづくりの基本理念

私たちがつくる 未来をつくる

いま私たちに求められるのは、未来を切り拓いていくという強い気持ち、そして互いを信頼し思いやる気持ちと共感力を持って、具体的に行動することです。

また、国連が提唱した「持続可能な開発目標(SDGs)」は、世界が抱えるさまざまな課題の解決を目指すもので、地域社会を支えるまちづくりにも通じます。

まちづくりの主角は、まぎれもなく私たち一人ひとりです。SDGsの考え方を規範とし、みんながまちづくりを自分事として考え、主体的に、そしてさまざまなパートナーとともに活動していくことで、新しい時代に対応した、夢と希望に満ちあふれる未来の豊橋を創造します。



目指すまちの姿

未来を担う 人を育むまち・豊橋

● 8つの目指すまちの姿

魅力的なまちは、そこに暮らす、あるいは関わる人たちによってつくり、その想いとともに関わりが深まっていきます。そこで最も大切なことは、人を育むことです。人がまちをつくり、にぎわいと活気が生まれ、さらに多くの人が引き寄せられる。人とまちがともに未来へと成長を続けているまちを目指します。

また、私たちが目指すまちの姿は、多様な分野に及んでいます。そこで、各分野の目指すまちの姿として、次の8つを掲げます。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち | 2 活力みなぎり、はつらつと働けるまち |
| 3 命の安全、心の安心が確保されたまち | 4 みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち |
| 5 互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち | 6 魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち |
| 7 自然と共生し、地球環境を大切にするまち | 8 暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち |

豊橋市とSDGs

SDGs(Sustainable Development Goalsの略)は、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記された、2030(令和12)年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すものです。

こうした世界的な動きのある中、国は、SDGsの達成に向けて積極的な自治体を「SDGs未来都市」として選定しており、豊橋市は水と緑に関する取り組みが認められ、2019(令和元)年に選ばれました。



豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり

生命にとって大切な水と緑を未来へとつなぐために、豊橋市では、市民や企業、団体などのパートナーと連携して、身近な地域から世界へ、次の世代へと視野を広げながら、さまざまな活動を展開しています。

主な活動実績

- 豊橋市SDGs推進パートナーとのまちづくり
- 生ごみや下水汚泥等を活用した再生可能エネルギーの生産
- 国際貢献活動の実施(水道技術支援、野生動物保全活動)



分野別計画

8つの目指すまちの姿(分野)ごとに進めていく、まちづくりの基本となる方針を定めた計画です。

1 子育て・教育

豊かな人間性を備え、 未来を創る人が育つまち



子育てに安心や希望が持てる環境づくりを進めるとともに、豊かな人間性を備え、未来を切り拓くことのできる人材を育みます。

1. 子育て支援・児童福祉の充実
2. 学校教育の推進
3. 生涯学習の推進
4. 科学教育の推進
5. 子ども・若者の健全育成



3 安全・安心

命の安全、 心の安心が確保されたまち



大規模自然災害などへの備えを誰もが実践しているとともに、パンデミックなどの非常事態にも負けない、強靱で回復力のあるまちづくりを進めます。

1. 危機管理の強化と防災対策の推進
2. 消防・救急救命体制の充実
3. 暮らしの安全確保
4. 生活衛生の確保



2 産業

活力みなぎり、 はつらつと働けるまち



東三河地域経済のけん引役を担う産業構造を形成するとともに、それぞれの夢がかなう働く場があり、柔軟な働き方ができるまちづくりを進めます。

1. 農漁業の振興
2. 商工業の振興
3. 雇用の安定と働き方の充実
4. 三河港の振興



4 健康・医療・福祉

みんなで支え合い、 笑顔で健やかに暮らせるまち



健康・福祉のサービス体制の整備を進めるとともに地域の絆を育むほか、地域医療体制を強化し、安心の保健医療の提供に努めます。

1. 健康づくりの推進
2. 医療の充実
3. 地域福祉の充実
4. 高齢者福祉・介護保険の充実
5. 障害者(児)福祉の充実
6. 生活自立の支援



5 文化・スポーツ・共生

互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち



歴史や芸術文化、スポーツなどにふれあうことができる環境を整えるとともに、多様な価値観を認め合うことのできるまちづくりを進めます。

1. 芸術文化の振興
2. スポーツの推進
3. 美術の振興と歴史文化の継承
4. 国際化・多文化共生の推進
5. 市民協働の推進
6. 男女共同参画の推進



6 にぎわい

魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち



新たな魅力の創出や既存資源の磨き上げ、にぎわいのある中心市街地の形成など、多くの人から選ばれるまちづくりを進めます。

1. まちなかの活性化
2. のんほいパークの魅力向上
3. シティプロモーションの推進
4. 観光の振興



7 環境

自然と共生し、地球環境を大切にすまち



豊かな自然を生かした、暮らしに潤いと安らぎのあるまちづくりを進めるとともに、SDGs 未来都市として、経済、社会、環境の調和に努めます。

1. 気候変動対策の推進
2. 資源循環の推進
3. 自然環境の保全
4. 緑の環境づくり



8 都市基盤

暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち



公共交通などの生活基盤を充実するとともに、まとまりがあるまちづくりなどを進め、暮らしやすい便利で快適なまちを形成します。

1. 都市空間の形成
2. 交通環境の充実
3. 住宅環境の整備
4. 水道水の安定供給
5. 下水道の整備



まちづくり戦略

豊橋市の最重要課題ともいえる人口減少対策として、分野を横断し、重点的かつ戦略的にまちづくりを進めるための方針を定めた計画です。



まちづくり戦略の力点と共通認識

まちの維持や発展を脅かす人口減少に歯止めをかけるため、特に重要な要素となる「若者」や「女性」に力点を置くとともに、次のことを共通認識としたまちづくりを進めます。

多様な人材の活躍を推進する

- ・誰もが明るい未来を描き生きる喜びを実感できる地域社会の形成
- ・就労を望む誰もが働き続けることができる環境づくり

新しい時代の流れを力にする

- ・Society5.0の推進による社会システムの発展
- ・SDGsの推進による持続可能で多様性と包摂性のある社会の形成

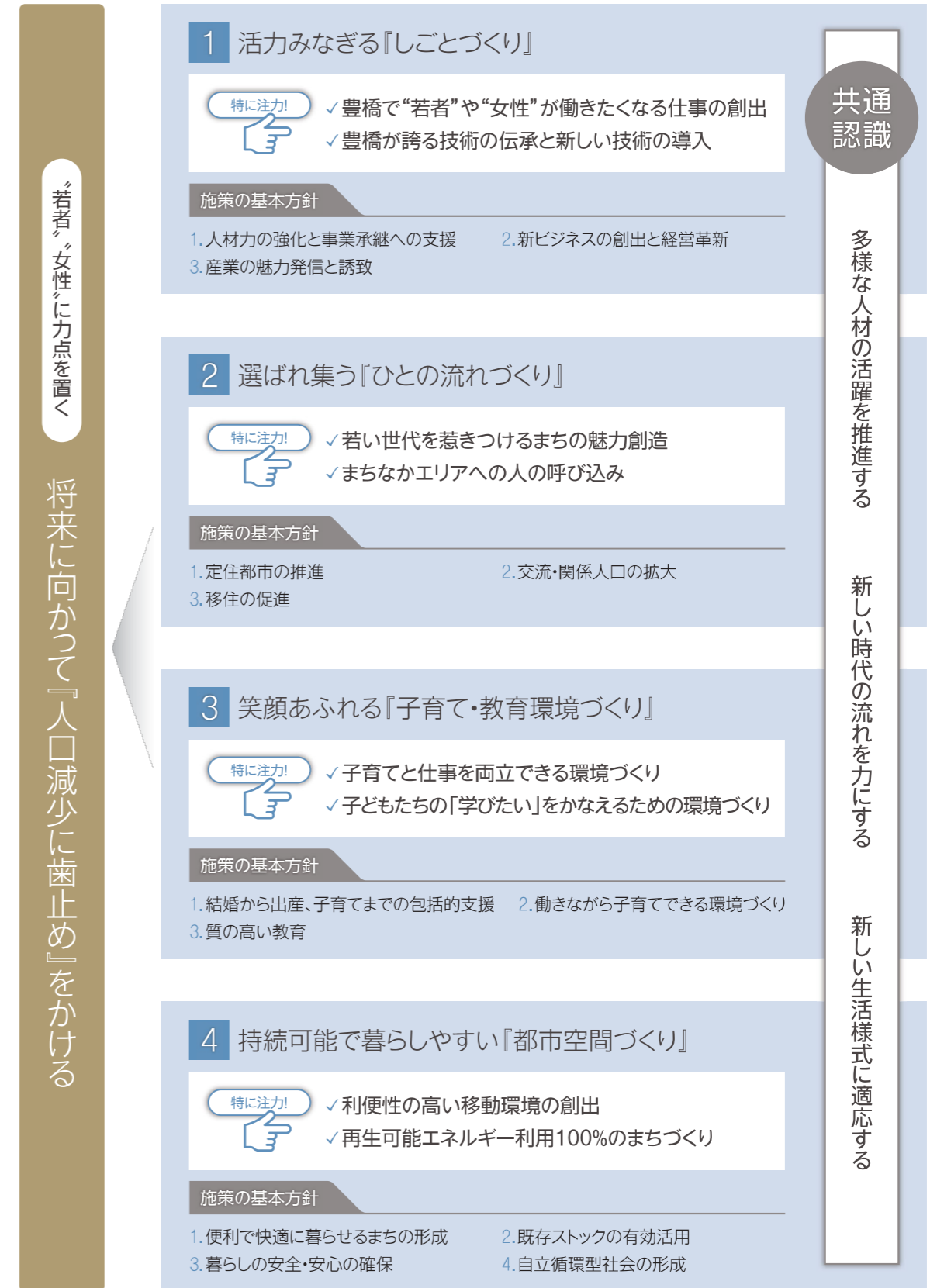
新しい生活様式に適應する

- ・コロナ禍でも社会経済活動を可能とするテレワーク等の普及
- ・地方都市ならではの安全・安心でゆとりのある暮らしの提供

「まちづくり戦略」と「第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一体的な策定

豊橋市では、2015(平成27)年に、豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少対策を推進してきましたが、依然として、人口の減少傾向は続いています。そこで、目的を同じくする、まちづくり戦略と、第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定し、一層の人口減少対策を推進します。

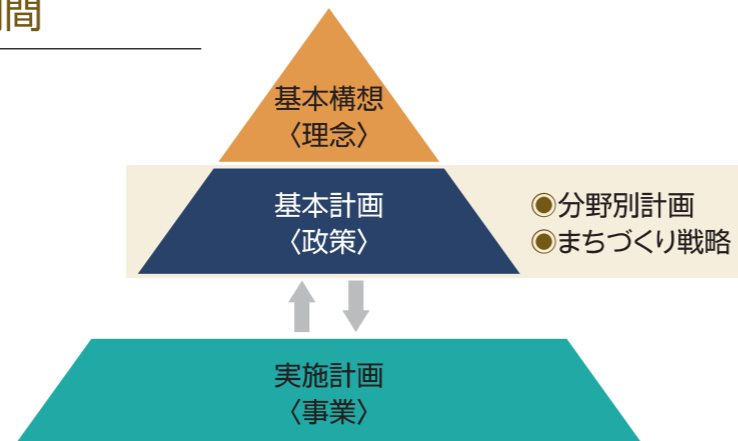
まちづくり戦略の構造



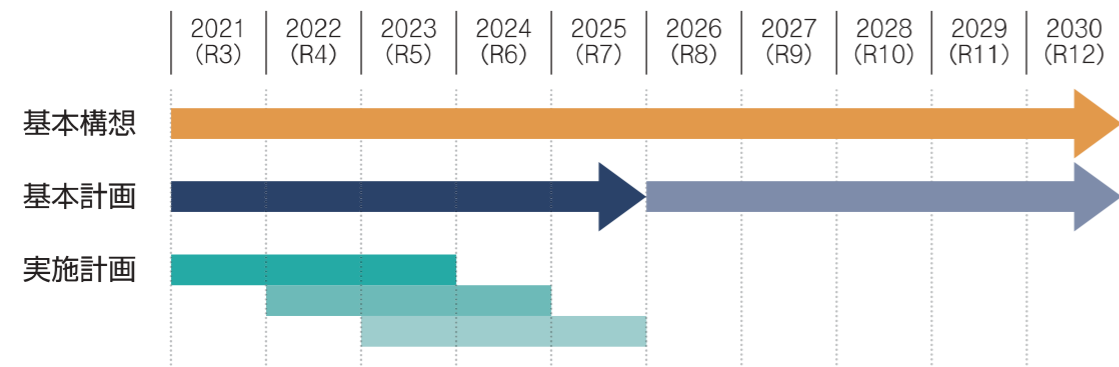
総合計画の構成と計画期間

総合計画は、社会情勢や国の政策を踏まえた将来展望のもとに、自主的かつ総合的なまちづくりを計画的に進めるため、まちづくりの長期的な目標から具体的な事業計画までを明らかにするものです。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成されています。



- 基本構想 計画期間：10年（2021～2030年度）
将来目標として豊橋市が目指すまちの姿と、その実現に向けたまちづくりの基本的な考え方を明らかにするものです。
- 基本計画 計画期間：5年（2021～2025年度）
基本構想に基づき、まちづくりを総合的かつ計画的に推進するため、政策ごとの取り組みの基本方針（分野別計画）や、戦略的な施策（まちづくり戦略）を明らかにするものです。なお、まちづくり戦略は、第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体のものとなります。
- 実施計画 計画期間：3年（毎年度見直し）
基本計画の取り組みの基本方針に基づいて、具体的な事業計画を明らかにするものです。



10年

基本構想

まちづくりの基本理念

私たちがつくる 未来をつくる

目指すまちの姿

未来を担う 人を育むまち・豊橋

—8つの目指すまちの姿—

5年

基本計画

分野別計画

1	2	3	4	5	6	7	8
子育て教育	産業	安全安心	健康医療福祉	文化スポーツ共生	にぎわい	環境	都市基盤

まちづくり戦略
(しごと、ひとの流れ、子育て・教育環境、都市空間)

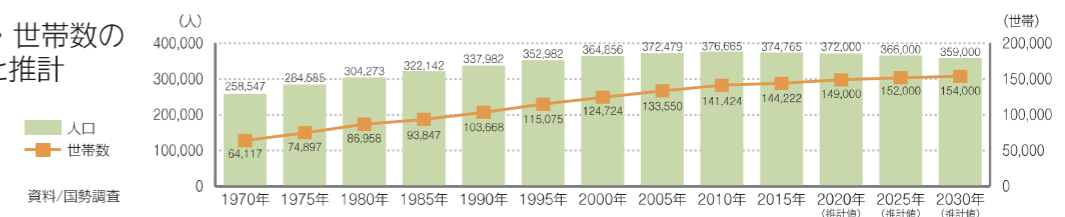
豊橋市の概要

豊橋市は、愛知県の東南部に位置する、人口約37万人の中核市です。多様で豊かな文化が育まれ、農業やものづくり産業の発展した、美しい自然と暮らしやすい都市環境のある住みよいまちです。

人口	374,765人
世帯数	144,222世帯
就業者数 (15歳以上)	1次産業 10,255人 2次産業 64,608人 3次産業 107,631人

資料/2015年国勢調査

●人口・世帯数の推移と推計



豊橋の未来をつくるために

—目指すまちの姿の実現に向けて—

まちづくりでは、実現したい未来のまちの姿をしっかりと描き、そこに向かって歩み出すことが大切です。そこで、豊橋の未来をつくるために、みなさんが実行できる具体的なアクションを考えましょう。

未来をつくる 私のアクション

平和・交流・共生の都市宣言

私たちのまち豊橋市は、市民自治の精神に立ち、人や地域、世界の国々とのつながりを大切に、“すべての人とともに生きる”、気概と誇りをもったまちづくりを進めています。

市制100周年を機に、私たちは、先人の英知と情熱の歴史を受け継ぎ、核の脅威のない真の恒久平和と世界の持続的な発展に貢献するため、広い分野にわたる交流と国際協力の取組みに努めます。

また、多様な文化や生活・習慣への理解を深め、自らの役割と責任を自覚するなかで、互いに信頼し尊重しあう心を持ち、人が輝き安心して生活できる地域づくりに取り組みます。

心豊かで笑顔あふれる豊橋を次の世代に引き継ぐため、私たち豊橋市民は、一人ひとりが、未来への夢と高い志を持ち、“世界に開かれ、世界に友人をもつ豊橋”、“平和を希求する豊橋”をめざすことを決意し、ここに「平和・交流・共生の都市」を宣言します。

平成18年12月18日

愛知県豊橋市



第6次豊橋市総合計画 概|要|版



令和3年3月

発行●豊橋市

編集●豊橋市企画部政策企画課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地

電話(0532)51-3151

e-mail seisakukikaku@city.toyohashi.lg.jp

